

胸部腫瘍の臨床病理学的な特性と治療の効果・安全性に関する研究 (Ver 1.2)

研究対象と概要：

国立がん研究センター中央病院呼吸器内科において、2000年1月1日から2025年12月31日まで胸部腫瘍の診断、手術、化学療法、放射線療法、緩和ケアなどを実施された患者を対象とし、診療録の情報にもとづいて診断や治療について検討します。

研究の意義：

肺癌、胸腺上皮腫瘍、悪性胸膜中皮腫などに代表される胸部腫瘍に対する治療法は依然として改善の余地があり、国立がん研究センター中央病院呼吸器内科の診療データを用いて適切な解析を実施することに意義があります。

研究の目的：

胸部腫瘍患者を対象として、その臨床病理学的な特性と、治療の効果・安全性に関して検討します。

研究の方法：

本研究は、診療録の情報を収集、解析することで実施されます。

研究に用いる情報の種類：診療情報(性別、年齢、身長、体重、疾患名、病歴、生活歴、診療録、血液検査データ、画像所見) 等

研究期間：研究許可日から2026年4月5日

個人情報に関する配慮：

患者さんのデータ収集作業は当院医師が担当します。集められた診療情報は、個人情報 that 特定できないように研究用の番号を付与し、漏洩のない環境で厳重に管理されます。研究への利用は、下記の連絡先に申し出ることによって拒否することができます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：大江裕一郎

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

国立がん研究センター中央病院呼吸器内科

電話：03-3542-2511 / FAX：03-3542-3815